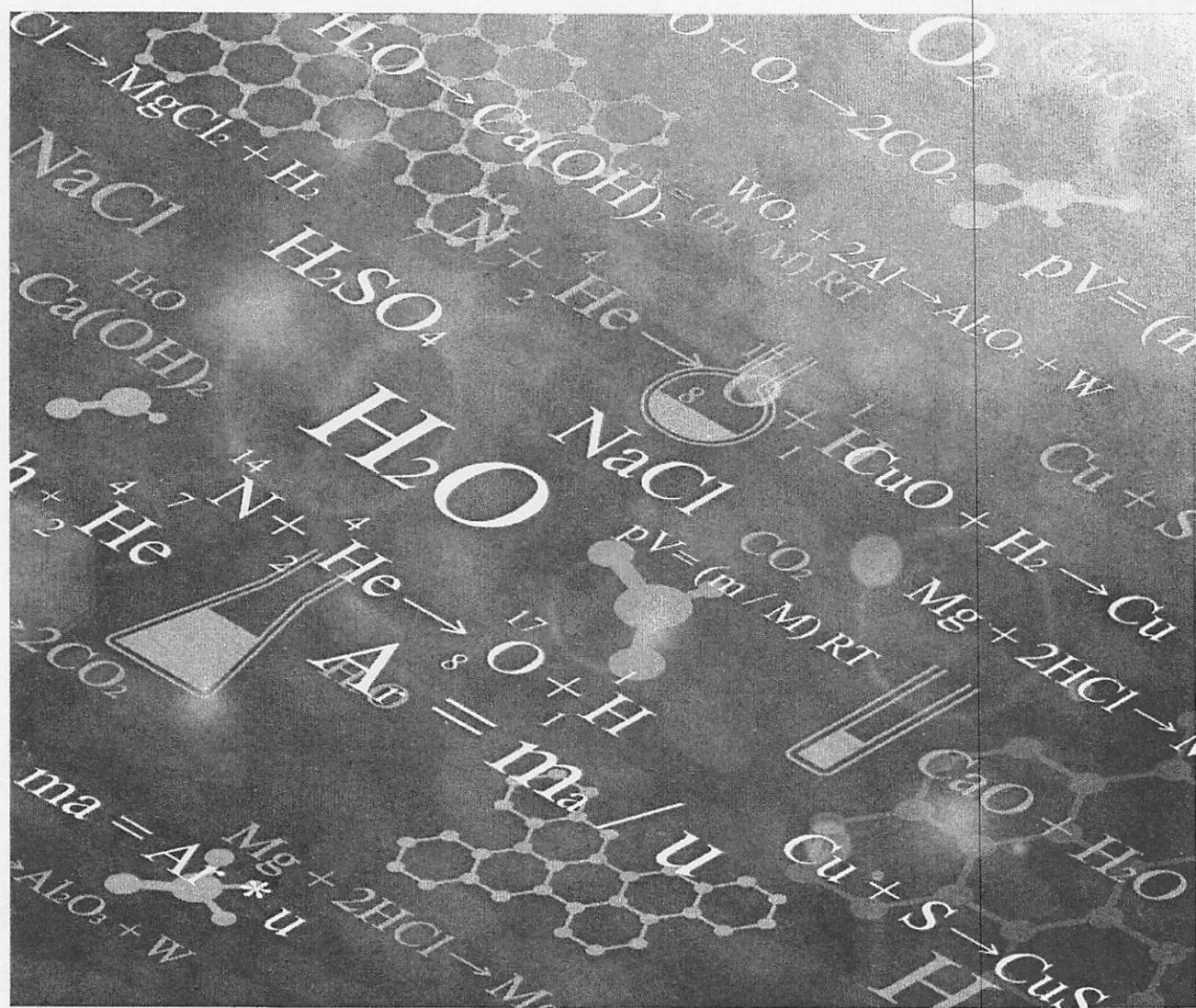


各市町村

研究計画



平成30年度 千教振理科(小)部会 研究計画

1. 研究主題

目的意識をもった実験・観察を通して、自ら問題解決し、
自己の成長を実感できる子どもの育成

2. 研究仮説

「子どもの問題解決の力」を高めることにより、一人ひとりの子どもが自ら見出した問題を、見通しをもって実験・観察し、解決することができる。そのような活動を積み重ねることで、学んだことを次の学びに生かし、さらには自己の成長を実感できるようになる。

3. 研究内容

理科で育てたい問題解決の力を意識した授業づくり

研究内容1 学習指導について

- ・一単位時間の学習の中での「問題解決の力」を意識した授業づくり
- (1) 児童自らが「問題を見いだす」授業づくり
- (2) 「ふり返り」の日常化
- (3) 教材教具の工夫・開発

・千歳理科部会の合言葉…

研究内容2 教育課程について

- ・「教育課程基底編」の作成
- ・フィールドワークの実施

DDF
ダイナミック ドラマチック フレキシブル

研究内容3 小委員会

- ・過去の理科(小)部会の実践事例の収集および活用
- ・中心単元のレディネステスト作成と検証

4. 研究中心単元、各学年の授業者・責任者、アトラクション委員

学年	中心単元	授業者	責任者
3年	ものと重さ	羽根川 和弘(信濃小)	鳴海 史朗(駒里小)
4年	ものの温度と体積	相澤 勇佑(緑小)	前田 亮(高台小)
5年	もののとけ方	白倉 愛子(末広小)	近藤 良恵(末広小)
6年	水溶液	山崎 瞳(桜木小)	佐藤 卓朗(信濃小)
アトラクション委員		武藤 幹太(緑小)	

5. 研究組織 34名

(●授業者、○責任者、★アトラクション委員)

3年生部会	4年生部会	5年生部会	6年生部会
●羽根川 和弘(信濃小) 茂木 勇人(北陽小) ○鳴海 史朗(駒里小) 中原 直彦(末広小・1) 小林 宏太(泉沢小・2) 大村 正俊(泉沢小・長) 松原 康雄(千歳小・副) 本間 昌喜(泉沢小・外)	●相澤 勇佑(緑小) ○前田 亮(高台小) 小山内 強(祝梅小) 清水 敬太(桜木小) 久保 亜紀(北陽小) 佐藤 昌二(東小・1) 武田 淳(緑小・長) 東 祐史(末広小・副) 鎌田 康弘(末広小・主) ★武藤 幹太(緑小・外)	●白倉 愛子(末広小) 三浦 久美子(高台小) 高井 忍(東小) 笠原 健太郎(北栄小・2) 本間 薫(末広小・2) ○近藤 良恵(末広小・2) 横山 卓巳(末広小・外)	○佐藤 卓朗(信濃小) 佐々木 由樹(信濃小) 畑中 ゆりえ(高台小) ●山崎 瞳(桜木小) 渡辺 勤(千歳小・2) 渡邊 和宏(向陽台小・2) 鎌田 定男(高台小・副) 中村 信義(支笏湖小・副) 小野寺 英輝(千歳小・外)

部長 本間 薫 (末広小) 推進委員 本間 昌喜 (泉沢小) 会計 小林 宏太 (泉沢小)
 <石教研役員> 教育課程委員 渡邊 和宏 (向陽台小) 小委員 佐藤 卓朗 (信濃小)

6. 研究計画と実践

4月13日(金)	千教振 第一次研究協議会	・今年度の研究について ・年間研究計画について	・授業者、責任者の決定
6月15日(金)	全体会議 (末広小)	・具体的な研究内容の提案 ・第二次研究協議会での授業学年	・指導案形式の確認
7月	各学年部会	・授業の方向性の検討 ・夏休み中の指導案作成に向けて	
7月25日(水)	千教振実技研修会	・真夏の内別川の生き物しらべ	
8月～9月初め	各学年部会	・指導案検討 ・学年部会ごとの授業実践、まとめ	
9月10日(月)	千教振 第二次研究協議会	・授業公開 ・各学年指導案の交流	・石教研二次研究協議会に向けて
9月中旬 胆振東部地震のため、各学年部会による授業公開・協議へ変更			
9月19日(水)	帳合い作業(末広小)	・帳合作業	
10月12日(金)	石教研 第二次研究協議会	・授業公開(石狩市) ・レポート発表(VTR、教材教具)	
10月13日(土)	千教振実技研修会	・支笏湖南岸 楓沢の洞門	
2月8日(金)	千教振 第三次研究協議会	・今年度のまとめ ・会計決算報告	・次年度に向けて

平成30年度 恵教研理科（小）部会研究計画

1. 研究主題

目的意識を持って実験・観察を通して、自ら問題解決し、
自己の成長を実感できる子どもの育成

2. 研究仮説

「子どもの問題解決の力」を高めることにより、一人ひとりの子どもが自ら見出した問題を、見通しをもって実験・観察し、解決することができる。そのような活動を積み重ねることで、学んだことを次の学びに生かし、さらには自己の成長を実感できるようになる。

3. 研究の重点

理科で育てたい問題解決の力を意識した授業づくり

研究内容1 学習指導について

一単位時間の学習の中での「問題解決の力」を意識した授業づくり

- (1) 児童自らが「問題を見いだす」授業づくり
- (2) 「ふり返し」の日常化
- (3) 教材教具の工夫・開発

研究内容2 教育課程について

- ・「教育課程基底編」の作成
- ・フィールドワークの実施

研究内容3 小委員会

- ・過去の石教研理科小部会の実践事例の収集、活用。
- ・中心単元のレディネステスト作成・検証。

4. 研究方法

(1) 研究センター

学年	単元名
3年	ものと重さ (11、12月実施内容)
4年	ものの温度と体積 (12、1月実施内容)
5年	もののとけ方 (2、3月実施内容)
6年	水溶液 (10、11月実施内容)

5. 研究体制

(1) 部会役員

部長	日野 智朗	恵み野旭小学校
推進委員	菊地 安奈	和光小学校
会計	山川 郁美	和光小学校
アトラクション委員	本間 翔太	和光小学校

(2) 部会員の学年割り当て (全29名)

○3年生 (4人)

- ・恵庭小 大溝 宏
- ・和光小 苗加 大輔
- ・和光小 津村 玲那
- ・恵み野小 村山 直規

○4年生 (3人)

- ・恵庭小 原田 香菜
- ・恵庭小 深澤 彰則
- ・若草小 橋本 好史

○5年生 (4人)

- ・恵庭小 小林 駿太
- ・島松小 石井 保成
- ・和光小 長坂 貴朗
- ・和光小 菊地 安奈

○6年生 (5人)

- ・和光小 元沢 貴子
- ・和光小 本間 翔太
- ・柏小 本岡 貴徳
- ・若草小 久保田深雪
- ・恵み野小 濱田 泰考

○1年生 (3人)

- ・和光小 山川 郁美 (6)
- ・和光小 村橋 裕 (4)
- ・恵み野旭小 日野 智朗 (3)

○2年生 (2人)

- ・和光小 田中 由美 (5)
- ・若草小 吉成 拓人 (4)

○特別支援学級 (1人)

- ・柏小 小川 晴久 (4)

○担任外 (7人)

- ・柏小 荒屋 純一 (6)
- ・松恵小 加藤 敏幸 (5) 長
- ・若草小 生田 康人 (4) 頭
- ・恵み野小 鈴木 直道 (3) 頭
- ・恵み野小 高垣 純 (3)
- ・恵み野旭小 米屋 英毅 (5)
- ・恵み野旭小 高橋 光徳 (6)

(3) 研究授業者、責任者

	授 業 者	責 任 者
3年	和光小 津村 玲那	和光小 苗加 大輔
4年	若草小 橋本 好史	若草小 吉成 拓人
5年	島松小 石井 保成	和光小 田中 由美
6年	若草小 久保田深雪	恵み野小 濱田 泰考

6. 今年度の研究計画

4月13日	恵教研第一次研究協議会
6月5日	理論研 (和光小学校) ①今年の研究, 指導案の様式 ②今後の日程 (学年部会の持ち方) など
7月~8月	各学年部会 ①授業の方向性 ②指導案作成 ③授業公開日の決定
9月 7日	恵教研第二次研究協議会 ①ブロック研反省 ②石教研2次集会にむけて ③指導案帳合作業
10月12日	石教研理科 (小) 部会第二次研究協議会
2月8日	恵教研第三次研究協議会 ①研究のまとめ ②新年度体制の確立

2018年度 江教研理科（小）部会

1. 研究主題

目的意識をもった実験・観察を通して、自ら問題解決し、
自己の成長を実感できる子どもの育成

2. 研究の重点

理科で育てたい問題解決の力を意識した授業づくり

研究内容1 学習指導について

ー単位時間の学習の中での「問題解決の力」を意識した授業づくり

(1) 児童自らが「問題を見いだす授業づくり」

(2) 「ふり返し」の日常化

(3) 教材教具の工夫・開発

研究内容2 教育課程について

・「教育課程基底編」の作成

・フィールドワークの実施

研究内容3 小委員会について

・過去の理科（小）部会の実践事例の収集および活用

・中心単元のレディネステスト作成と検証

3. 研究体制

(1) 部会役員

部長	春木 賢司	江別太小
推進委員	前田 真吾	豊幌小
会計	渡部 洋子	江別太小
アトラクション委員	成田 一之慎	江別一小

(2) 石教研役員

部長	青木 啓洋	江別一小
----	-------	------

(3) 授業者、責任者

ブロック	学年	授業者	責任者	主な会議場所
中	3	中山 喜弘	川越 義勝	対雁小
	4	高杉 祐之	酒井 寛史	大麻小
高	5	神野 義仁	吉内 裕幸	いずみ野小
	6	加嶋 紘平	阿部 実	大麻西小

(3)【会員名簿】35名(3年部会~9名、4年部会~9名 5年部会~9名、6年部会~8名)

学年	学校	氏名	代表	部会
1	第一小	成田 一之慎	○	6年
	江別太小	渡部 洋子		3年
	大麻東小	高藤 千春	○	6年
2	江別太小	原口 真志		4年
	江別太小	佐藤 澄江		3年
	大麻西小	戸田 範子		4年
	中央小	吉内 裕幸	○	5年
	上江別小	大月 宏氏		5年
3	第一小	木田 千恵美		3年
	第二小	内藤 裕一		4年
	対雁小	中山 喜弘		3年
	江別太小	竹田 ゆか		3年
	大麻小	佐藤 聡	○	3年
	豊幌小	奥山 尚登		3年
4	大麻小	高杉 祐之		4年
	大麻西小	佐藤 宙		4年
	いずみ野小	岡山 妙子		4年
5	対雁小	平山 慎一郎	○	5年
	大麻小	武田 啓子		5年
	いずみ野	神野 義仁		5年

学年	学校	氏名	代表	部会
6	豊幌小	前田 真吾	○	6年
	大麻西小	加嶋 紘平	○	6年
5,6	野幌小	阿部 実	○	6年
	野幌小	小野 健太郎		6年
外	第一小	青木 啓洋		5年
	第二小	酒井 寛史	○	4年
	対雁小	田村 剛郎		4年
	江別太小	春木 賢司	○	6年
	文京台小	宮武 昇平	○	5年
	中央小	川越 義勝		3年
	中央小	三田村 要		6年
主	上江別小	平沼 敦	○	5年
	大麻東小	坂田 育子		3年
頭	いずみ野小	土岐 景輔		5年
	文京台小	三科 圭介		5年
長				

4. 今年度の主な年間計画予定

月	計 画	月	計 画
4	江教研第一次研究協議会 (13日)	7	学年部会
		8	・指導案検討 ・指導案作成の役割分担など 二次研究協議会前までに授業実践、研究協議 研究推進委員研修会 フィールドワーク『カブトムシの採集』(8月2日)
5	石教研理科小部会 理論研修会(29日) 『これからの理科教育』	9	学年部会 ・指導案検討 ・部会としての理論構築 ・二次研究協議会前までに授業実践、研究協議 江教研第二次研究協議会 9/6(木) ・授業公開・研究協議 ・各学年の授業交流
6	全体会 ・研究計画・内容・体制の検討 ・指導案形式の確認 ・討議の柱の確認 ・学年部会(研究計画・日程調整) ・理論研修会の連絡 理論研修会(6月5日)	10	石教研専門部会第二次研究協議会 10/12(金) 石狩市
		2	江教研三次研究協議会 8日(金) ・研究のまとめ

平成30年度 当新教研理科(小)部会活動計画

1. 部会構成

学校名	氏名	学年	所属学年	備考
当別小学校	小林 茂行	2	5	当別・新篠津推進委員
	渡邊 久徳	校長	5	
新篠津小学校	村井 康俊	5	5	授業者

2. 今年度の研究について

研究主題	目的意識をもった実験・観察を通して、自ら問題解決し、 自己の成長を実感できる子どもの育成
研究の重点	理科で育てたい問題解決の力を意識した授業作り

3. 研究センター単元

学年	単元名	時期	備考
5年生	もののとけ方	2・3月実施内容	

4. 役割分担

役割	氏名	学校名
推進委員	小林 茂行	当別小学校
アトラクション委員	★	★
授業者	村井 康俊	新篠津小学校
責任者	小林 茂行	当別小学校

5. 今年度の主な年間計画予定

月	計画	月	計画
4	当新教研第一次研究協議会(13日)	9	研究授業(新篠津小学校)(3日)
6	当新教研中間研究協議会(14日) (札幌市青少年科学館にて研修)	10	石教研専門部会第二次研究協議会 10/12(金) 石狩市
8	事前研 ・指導案検討	2	当新教研第三次研究協議会(8日)

2018年 石教振 理科（小）部会 研究計画

◆研究主題◆

目的意識をもって実験・観察を通して、自ら問題解決し、自己の成長を
実感できる子どもの育成

◆研究仮説◆

「子どもの問題解決の力」を高めることにより、一人ひとりの子どもが自ら見出した問題を、見通しをもって実験・観察し、解決することができる。そのような活動を積み重ねることで、学んだことを次の学びに生かし、さらには自己の成長を実感できるようになる。

◆研究内容◆

<研究の重点>

理科で育てたい問題解決の力を意識した授業づくり

<研究の内容>

学習指導について

- ・一単位時間の学習の中での「問題解決の力」を意識した授業づくり
- (1) 児童自らが「問題を見出す」授業づくり
- (2) 「ふり返り」の日常化
- (3) 教材教具の工夫・開発

教育課程について

- ・「教育課程基底編」の作成
- ・フィールドワークの実施

小委員会

- ・過去の石教研理科小部会の実践事例の収集、活用
- ・中心単元のレディネステスト作成・検証

- (1) 児童自らが「問題を見いだす」授業づくり
 - ・問題を見いだす力を育むための指導の工夫
- (2) 「ふり返り」の日常化
 - ・年間通しての「ふり返り」の日常化
- (3) 教材教具の工夫・開発
 - ・子どもの自発的な行動や

◆部会構成◆

(1) 役員

部長	石川 陽一	生振
推進委員	占部 智一	双葉
会計	佐藤 倫子	浜益

(2) 部会員 ○印は学校代表者

学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名
1	杉浦 和貴	花川	2	石川 陽一	生振
	深澤 健太	花川南			
	鈴木 陽一	望来			
	○佐藤 倫子	浜益			
3	○小野寺裕介	紅南	4	○吉田 尚規	生振
				守田 明弘	南線
				○小林 直子	南線
5	神保 研匠	生振	6	○浅利 歩	石狩
	占部 智一	双葉		○茶谷 康介	花川
	大森 香奈江	南線		今野 一哉	生振
				菅原 洋子	南線
			清水 崇史	八幡	
3・4複			担任外	富田 雅幸	花川
				○鎌倉 英敏	緑苑台
校長	三島 哲	八幡	教頭	早川 久夫	緑苑台
				佐藤 一希	浜益

(3) ブロック構成

3年ブロック	小野寺裕介、神保 研匠、占部 智一、大森 香奈江 鎌倉 英敏、深澤 健太、早川 久夫
4年ブロック	吉田 尚規、守田 明弘、小林 直子、鈴木 陽一 佐藤 倫子、石川 陽一、佐藤 一希
6年ブロック	浅利 歩、茶谷 康介、今野 一哉、菅原 洋子、清水 崇史 杉浦 和貴、富田 雅幸、三島 哲

3年ブロック	ものと重さ
4年ブロック	ものの温度と体積
6年ブロック	水溶液

○ 各ブロックに分かれての役割分担（責任者、ビデオ撮影、事後研・記録、アトラクション委員）

ブロック	授業者	責任者	ビデオ撮影	事後研・記録
3年	小野寺裕介（紅南小）	鎌倉英敏（緑苑台）	※なし	※なし
4年	吉田尚規（生振小）	石川陽一（生振小）	※なし	※なし
6年	茶谷康介（花川小）	富田雅幸（花川小）	※なし	※なし

- ・アトラクション委員【今野 一哉（生振小）】
- ・科学の祭典実行委員【鈴木 陽一（望来小）】

◆今年度の研究日程◆

4月	★石教振一次研究協議会（4/12【木】）・・・授業者・責任者決定
5月	●理論研集会①（5/29） ●各市町村研究推進委員会
6月	●理論研修②（6月5日）【研修センター】 ★全体研修会（6月8日）【双葉小学校】
7月～8月	★各ブロック部会・・・指導案作成役割分担&指導案検討など ●石教研フィールドワーク（8/2） ★石教振二次研究協議会（8/31【金】）・・・指導案検討
9月	
10月	●石教研専門部会二次研究協議会（10/12【金】石狩市）
2月	★石教振三次研究協議会（2/8【金】） 今年度まとめ